

# 佐沼高等学校

校訓 至誠・「献身・窮理・力行」



## 1 基本データ

創立：明治35年  
課程・学科：全日制課程・普通科  
生徒数：683名  
所在地：〒987-0511  
登米市迫町佐沼字末広1番地  
TEL：0220-22-2022  
FAX：0220-22-2023

ホームページアドレス：  
<https://sanumamyswan.ed.jp/>  
代表者電子メールアドレス：  
sanuma@od.myswan.ed.jp  
主な交通機関：  
JR東北本線「瀬峰駅」下車→登米市市民バス南方線佐沼方面行き乗車（35分）  
→「佐沼高校正門前」下車 徒歩1分  
JR東北本線「新田駅」下車→登米市市民バス新田線佐沼方面行き乗車（21分）  
→「佐沼高校北」下車 徒歩2分

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

#### 『佐高で咲こう』

プラス思考と積極的挑戦を意識した『積極的なチャレンジの機会を求めよ！』をスローガンに、「咲こうとする意志・意欲」の結晶として自分たちの夢の実現のために、佐高で新しい歴史を創っています！

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は県の北部、登米市の農業及び商工業の中心地である迫町にあります。近くには白鳥やガンの飛来地として有名な伊豆沼があります。本校は、明治35年旧制宮城県第二中学校の登米分校としてスタートしました。その後独立して大正8年に佐沼中学校と名前を変え、昭和23年には現在の名称である佐沼高等学校と改称するとともに、男女共学の学校となりました。今年で創立124周年を迎える伝統のある学校であり、27,000名を超える卒業生が、各界で活躍しています。

### (2) 教育方針

校訓の「『献身・窮理・力行』の三徳を至誠をもって貫く」の教えと校是の「文武両道」を大切にし、21世紀の国際社会を生き抜くことができる英知、健全な心身を持った徳性の高い人物を育成することを教育目標としています。また、伝統として人格の陶冶と学問の探究を校風としており、常により高い学力の獲得と豊かな個性をもった生徒の育成に努めています。さらに、拠点校として、地域の教育力向上に貢献しています。

これらの目標を実現するため、以下の取組を行っています。

- ・地域理解講座、職業人講話（1年）
- ・Sanuma Summer University  
（大学教授による出前授業）
- ・夏期・冬期課外（全学年）
- ・進路講話（全学年）
- ・探究発表会（全学年）
- ・先輩に聞く（1・2年）

### (3) 教育課程の特徴

進路目標達成を視野に入れた授業づくりをしています。特に、多くの生徒が希望している大学進学へ重点をおいた内容となっています。

1年次：基礎学力の養成（国語・数学・英語の重点的な指導）

2年次：類型制（文系と理系）による進路目標達成に向けての早期取組

3年次：多様な進路に応じた科目選択  
授業は50分の7時間（月・金曜日は6時間）で思考力の向上をはかり、「自律的学習者」の育成を目指しています。

総合的な探究の時間では、地域人材・地域資源をはじめ国内外との連携を意識し、地域課題研究・学問研究・進路プランニング・小論文指導など、3年間の系統的な指導を行っています。

新1年生には、学習の仕方、高校生活の概要等についてオリエンテーションを行っています。

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

学校行事は、ダンスフェスティバル、佐高祭、スポーツフェスティバルなどがあり、生徒による主体的な運営がなされています。生徒会活動そのものも活発に行われています。

部活動も盛んであり、令和7年度は、ボート部男女ダブルスカルがインターハイに、美術部が全国高等学校総合文化祭に出場しました。また、陸上競技部男子400mH、棒高跳、砲丸投、円盤投、女子棒高跳、ボート部男子舵手付クォドルプル、女子シングルスカル、女子シングルスカル、舵手付クォドルプル、ラグビー部、吹奏楽部が東北大会出場を果たしています。さらに、陸上競技部男子棒高跳、砲丸投、女子棒高跳、ボート部男子舵手付クォドルプル、女子シングルスカル、ダブルスカルは東北新人大会に出場し、女子の両種目は全国選抜大会に駒を進めました。

県総体では、バドミントン部男子団体、剣道部男子団体、柔道部男子個人-73kg級がベスト8入りを果たすなど、他競技においても目覚ましい活躍をみせています。

県新人大会では、ラグビー部が準優勝となり東北新人大会に出場、ソフトテニス部女子団体、バドミントン部女子団体、卓球部女子ダブルス、剣道部女子個人の各競技、選手がベスト8入りを果たしました。

大会成績のみならず「何事にも真摯に取り組む人物の育成」という本校の教育目標に相応しい活躍を見せました。

### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	35	36	32
国公立短大	1	1	2
私立大学	103	114	99
私立短大	5	4	5
専各学校	47	38	45
就職	13	16	22
その他	15	24	5
卒業生計	219	233	210

主な進路先（令和8年3月卒業・78回生）

（ ）内は人数 （1）は省略

<国公立大学>

岩手大(12)、宮城教育大(3)、山形大(2)、福島大、宇都宮大(3)、新潟大、宮城大(3)、岩手県立大(5)、秋田公立美術大、福島県立医科大、前橋工科大、石川県立大、金沢美術工芸大、米沢女子短大

<私立大学>

東北学院大学(40)、東北福祉大学(8)、東北工業大学(3)、東北医薬科科大学(3)、宮城学院女子大学(6)、尚絅学院大学(5)、東北文化学園大学(3)、石巻専修大学、仙台青葉学院大学(3)、東北生活文化大学、岩手医科大学(3)、秋田看護福祉大、日本赤十字東北看護大、札幌大谷大、獨協大学、東邦音楽大、日本医療科学大、専修大(2)、大東文化大(2)、日本大、順天堂大、立教大、法政大(2)、成蹊大、武蔵野大、東海大、國學院大(2)、国士館大、北里大、東京経済大、常葉大、城西国際大、富山国際大、関西外国語大、龍谷大

<専修各種学校>

葵会仙台看護専門学校(2)、石巻赤十字看護専門学校(5)、気仙沼市医師会附属高等看護専門学校(3)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台市医師会看護専門学校、東北労災看護専門学校、いわき市医療センター看護専門学校、JR東京総合病院高等看護学園(2)、昭和医科大学附属看護専門学校、栃木県立衛生福祉大学校、東北職業能力開発大学校(2)他

<就職>

国家公務員[税務]、宮城県職員[一般事務](4)、[警察官B]、登米市職員[行政](3)、[消防]、自衛隊(2)、東日本旅客鉄道株式会社

### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

## ラグビー部東北新人大会出場

県新人大会でラグビー部が準優勝を果たし、令和8年2月11日～14日に福島県のJヴィレッジで行われた東北新人大会(Ⅱ部)に出場しました。3位決定戦で惜敗となってしまいましたが、県外の強豪校を相手に最後まで戦い抜きました。



千葉 広輝さん(中田中出身)からのコメント

東北新人大会では準決勝敗退という結果に終わってしまいました。この悔しさを糧に県総体へ向け頑張ります。ラグビー部員はほとんどが初心者ですが、県、東北選抜になるほど活躍しています。中学生の皆さん、ラグビーは痛そうというイメージとは裏腹に楽しいことがたくさんあります。是非入部してください。

## ボート部全国選抜大会出場



東北選抜大会で女子ダブルスカルが第1位、女子シングルスカルが第2位入賞を果たし、令和8年3月19日～22日に静岡県天竜ポート場で開催される第37回全国選抜大会に出場しました。

高山 凜花さん(新田中出身)からのコメント

全国選抜大会では、結果としては奮わず悔しい思いをしました。大会に参加したことで全国のレベルを知り次の高総体で上位入賞を目指すモチベーションに繋がりました。ボート部は誰もが同じスタート地点であることに加えて、全国大会を目指すことができます。ボート部への見学、入部をお待ちしています！

## 美術部・吹奏楽部全国総文祭出場

美術部2年の大場朱璃さんが第78回宮城県高等学校美術展で優秀賞を受賞し、令和8年夏に秋田県で開催される第50回全国高等学校総合文化祭(2026あきた総文)美術・工芸部門への出品が決定しました。

『咲子、恋のゆくえ』→

また、吹奏楽部も全国総文祭への推薦をいただき、出場を決めています。



大場 朱璃さん(若柳中出身)からのコメント

私は「漫画の新・表題」をテーマに、懐かしい少女漫画タッチでありながらも前後や上下左右に飛び出す、従来の漫画表現の枠を超えるような作品を制作しました。同時に、漫画文化の継承の意も込めたため、どう表現すれば鑑賞者にメッセージが届くか試行錯誤しながら制作しました。

菊地 智絵さん(中田中出身)からのコメント

私たちは昨年40数年ぶりに東北大会に出場しました。仲間とともに練習に励んだ日々はかけがえのない宝物です。また、みやぎ吹奏楽祭では、来年度の全国総文祭出場への推薦をいただきました。より良い演奏ができるよう、楽しく、ときには厳しく活動していきます。皆さんの入部を心からお待ちしています。

#### (2) 学校三大大行事

## ダンスフェスティバル

1年生から3年生までの縦割り、校訓でもある献身、窮理、力行の各団に分かれて覇権を競い合います。全員ダンス部門、有志グループが演じる代表グループ部門、事前に撮影したものを上映する映像部門があります。

## 佐高祭

一般公開では、自然科学部の研究発表や吹奏楽部、箏曲部、軽音楽部によるステージ発表、各部のパネル展示、実演等が行われました。校舎内外では3年生各クラスや地元商店街コラボ企画による飲食販売の模擬店が出店され、大盛況でした。



## スポーツフェスティバル



各学年2クラス合同の計9チームで佐高杯を争います。ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、タッチラグビー、ドッジボール、バドミントン競技が開催され、チーム一丸となって大いに盛り上がりました。開閉会行事も毎年趣向が凝らされています。

#### (3) 学校制服紹介

昔ながらの学生服で、男子は黒の詰め襟服、女子は紺色制服を着用することが義務付けられています。創立時から100年以上の歴史を持っています。

夏場や授業時には、「Sanuma」の頭文字「S」のイニシャルが入ったベストやセーターの着用も認められています。

男子は校章の図案が入った金色のボタンが特徴的です。女子は学年が上がるにつれて黄、緑、赤と変わる胸章やリボンがポイントです。2020年4月から女子のスラックスも導入されました。



#### (4) 施設紹介

2021年6月に新体育館、2022年10月にテニスコートが完成。授業や部活動で大いに活用されています。体育館には地元産の木材がふんだんに使用され、木の温もりが感じられる開放感ある構造となっています。さらに新校舎は2025年9月に完成し、2026年秋には第1グラウンドが完成予定です。中学生の皆さん、県内一新しい学び舎とグラウンドで、ともに青春を謳歌しましょう。



## 4 在校生からのメッセージ

生徒会長 五十嵐 龍誠さん(中田中出身)からのコメント

本校は「文武両道」を掲げ、勉強も部活動も本気で取り組める学校です。そして、様々な行事があり、楽しむときは仲間とともに全力で楽しむことができます。また、新校舎での学校生活はとても快適で、日々を前向きに過ごせる環境が整っています。ぜひ本校でパッションを持って様々なことに挑戦し、私たちと一緒に充実した高校生活を送りましょう！

応援団長 大場 朱璃さん(若柳中出身)からのコメント

本校は百年以上の歴史を誇る伝統校です。文武両道を掲げており、充実した学習環境が整えられています。加えて部活動は運動部も文化部も優秀な成績を収めており、全国レベルで活躍している部も多数存在しています。その佐高生のひたむきさや勤勉さは本校の特長であり誇れるものです。あなたも、この佐沼高校で咲きましょう！入学をお待ちしています。